

図書館コンシェルジュ

2015（平成27）年度
活動報告書

2016年3月

島根大学附属図書館

正課 PSP 報告書

図書館コンシェルジュ 2015（平成 27）年度活動状況報告

1 目的

この取組は、学生の図書館利用を学生自身が支援することにより、図書館を学生が学びあう場として、また、学生が学生を支援したり、図書館の業務の一部を担うことによるキャリア形成支援の場として図書館活動の再構築を図ろうとするものである。この活動により、図書館利用を活性化させ、学生の学術情報を使う力、いわゆる学術情報リテラシーの育成を支援するとともに、サポートする側に立つ学生のキャリア形成の支援を目的とする。

2 これまでの経過

2010（H.22）年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教育改革推進事業《島大 GP》に採択される ・後期から活動スタート
2011（H.23）年度	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で実施 ・学生協働交流シンポジウム（第 1 回・会場：山口大学）を開催
2012（H.24）年度	<ul style="list-style-type: none"> ・正課ピアサポート・プログラムの一つとなる ・図書館の改修工事のため、前期のみ活動 ・学生協働交流シンポジウム（第 2 回・会場：島根県立大学）を開催
2013（H.25）年度	<ul style="list-style-type: none"> ・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年） ・学生協働交流シンポジウム（第 3 回・会場：島根大学）を開催
2014（H.26）年度	<ul style="list-style-type: none"> ・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年） ・学生協働交流シンポジウム（第 4 回・会場：山口大学）を開催
2015（H.27）年度	<ul style="list-style-type: none"> ・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年） ・学生協働交流シンポジウム（第 5 回・会場：梅光学院大学）を開催

3 図書館コンシェルジュの活動内容

(1) 図書館サービス改善のための自主企画活動

○コンシェルジュの発案による様々な企画の実施

- eg. (広報チーム) 月刊広報誌 LiMe 編集・発行
 (展示・グッズチーム) ブックコンパス、松江市立図書館からの団体貸出
 (イベントチーム) オープンキャンパス企画、ラーコモカフェ、松江市立図書館での絵本読み聞かせ

(2) 正課外での図書館利用サポート

- サービスカウンター（授業時間割に対応した 1 日 5 コマに 1～2 名が担当）
- 図書館ツアー（オープンキャンパス時など随時）

← 正課 PSP による予算支援

(3) 正課授業と連携したサポート

- 「スタートアップセミナー」との連携

(4) 学生協働交流シンポジウムの企画・実施・参加

4 2015 年度応募者の状況

学年別内訳

学年	人数
1 年生	18
2 年生	2
3 年生	4
4 年生	5
研究生	1
修士課程 2 年	1
合計	31

所属別内訳

所属	人数
法文学部	11
生物資源科学部	12
教育学部	6
総合理工学部	1
教育学研究科	1
合計	31

5 2015 年度活動経過

3 月	9	2015 年度図書館コンシェルジュ募集開始
4 月	7	利用サポート開始 (前年度からの継続者)
	9	募集締め切り
	10~14	面談
	15	オリエンテーション
	16~5/31	実地研修 (新規参加者のみ・各自合計 5 時間)
	22	集合研修(1) (全員) (1)(2)合計 3.5 時間
5 月	1	集合研修(2) (全員) (1)(2)合計 3.5 時間
	7	新規参加者の自主企画活動開始
	22	5 月定例ミーティング
6 月	1	新規参加者 (2 年生以上) の利用サポート開始
	17	6 月定例ミーティング
8 月	6	前期サポート終了
	7	7 月・8 月定例ミーティング
	8~9	オープンキャンパス企画 (図書館謎解きゲーム/図書館ツアー/学生相談)
9 月	8~9	第 5 回大学図書館の学生協働交流シンポジウム開催 (会場: 梅光学院大学)
	29	9 月定例ミーティング
10 月	14	10 月定例ミーティング
11 月	11	11 月定例ミーティング
	23	大学間図書館交流会 (島根大学図書館コンシェルジュ/島根県立大学 (松江) 学図書委員)
12 月	9	12 月定例ミーティング
1 月	10	松江市立図書館での絵本読み聞かせ (試行)
	13	第 1 回ラーコモカフェ「学長と語ろう」開催
	13	1 月定例ミーティング
	20	図書館コンシェルジュが選書した松江市立図書館からの団体貸出図書サービスの開始

6 図書館利用サポートの実施状況

(1) 活動時間割り

授業時間帯		活動時間帯	月	火	水	木	金
1・2 限	8:30-10:00	8:30-10:00	-	-	-	-	-
3・4 限	10:15-11:45	10:15-11:45	-	-	-	-	-
昼休み	11:45-12:45	11:45-12:45	○	○	○	○	○
5・6 限	12:45-14:15	12:45-14:15	○	○	○	○	○
7・8 限	14:30-16:00	14:30-16:00	○	○	○	○	○
9・10 限	16:15-17:45	16:15-17:15	○	○	○	○	○
			-	-	-	-	-

*○のコマに原則として1名配置

(2) 利用統計

○図書館利用サポート集計 (資料1)

7 2015 年度予算執行状況

○2015 年度予算執行状況 (資料2)

8 その他の活動

(1) 自主企画活動

○全体

- ・オープンキャンパス企画 (図書館謎解きゲーム・図書館ツアー・学生相談)
- ・大学間学生交流会 (島根県立大学松江キャンパス学生図書委員との交流)

○広報チーム

- ・月刊広報誌 LiMe の編集・発行

○展示・グッズチーム

- ・ブックカバー作成 ・館内装飾 (テーマ: ハロウィン/冬)
- ・ブックコンパス (図書の企画展示) (テーマ: 冬/春)
- ・松江市立図書館からの団体貸出図書の貸出サービス

○イベントチーム

- ・絵本読み聞かせ (松江市立図書館)
- ・ラーコモカフェ

(2) 学生協働交流シンポジウム (第5回)

本シンポジウムは、様々な大学の図書館で活動する学生協働スタッフが、それぞれの活動状況を報告し合い、交流することをおして、各大学でのより発展的な活動に結び付けることを目的として開催するもの。2015 年度は、中四国地区を中心に全国に参加を呼び掛けて、全国から 36 大学・1 公共図書館から約 190 名が参加して開催した。

○テーマ: 図書館維新—図書館が繋ぐ人と人—

○会 場: 梅光学院大学/下関市生涯学習プラザ

○開催日: 2015 年 9 月 8 日 (火)・9 日 (水)

○主 催: 中国四国地区大学図書館協議会

実行委員会 島根大学附属図書館/島根大学教育開発センター

島根県立大学メディアセンター

山口大学図書館/山口大学学生支援センター

梅光学院大学図書館/梅光学院大学学生支援センター

図書館利用サポート統計(3年間の比較)

(資料1)

2013年度

月	年間集計												1					2					3					4					5				
	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)	8:30-10:00			10:15-11:45			11:45-12:45			12:45-14:15			14:30-16:00			16:15-17:15			月合計												
							教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者													
5月	21	105	93	88.6%	229	2.5			1	34	5	40	0	27	2	29	2	35	16	53	6	51	9	66	1	36	4	41	229								
6月	21	105	100	95.2%	149	1.5			2	15	2	19	1	13	4	18	1	34	10	45	0	37	6	43	1	21	2	24	149								
7月	22	110	98	89.1%	172	1.8			3	17	5	25	1	21	1	23	3	33	9	45	7	42	3	52	3	21	3	27	172								
8月	4	20	5	25.0%	2	0.4			0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2								
10月	22	110	74	67.3%	116	1.6			2	5	3	10	2	6	2	10	4	25	7	36	3	30	10	43	0	16	1	17	116								
11月	20	100	91	91.0%	135	1.5			3	9	2	14	1	9	3	13	10	31	7	48	1	28	4	33	1	21	5	27	135								
12月	15	75	70	93.3%	94	1.3			3	3	0	6	0	8	5	13	2	22	7	31	1	20	4	25	0	15	4	19	94								
1月	19	95	74	77.9%	69	0.9			0	7	2	9	1	7	3	11	2	15	7	24	0	18	0	18	0	3	4	7	69								
2月	7	35	9	25.7%	12	1.3			0	2	1	3	0	1	1	2	0	5	0	5	0	2	0	2	0	0	0	0	12								
合計	151	755	614	81.3%	978	1.6			0	0	0	0	6	93	21	120	24	201	63	288	18	228	36	282	6	133	23	162	978								

* 2013年度は、1コマ目は実施しない

2014年度

月	年間集計												1					2					3					4					5				
	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)	8:30-10:00			10:15-11:45			11:45-12:45			12:45-14:15			14:30-16:00			16:15-17:15			月合計												
							教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者													
5月	14	64	53	82.8%	115	2.2						0	20	3	23	6	26	3	35	2	38	8	48	0	9	0	9	115									
6月	21	97	81	83.5%	186	2.3						2	41	3	46	9	31	8	48	6	62	19	87	0	1	4	5	186									
7月	22	101	67	66.3%	116	1.7						0	17	3	20	5	29	6	40	1	36	6	43	1	8	4	13	116									
8月	3	14	10	71.4%	18	1.8						2	1	0	3	6	1	2	9	0	3	0	3	0	3	0	0	3	18								
10月	22	84	60	71.4%	112	1.9						2	11	4	17	4	27	13	44	7	19	10	36	0	14	1	15	112									
11月	18	84	61	72.6%	99	1.6						1	7	9	17	2	12	10	24	3	27	8	38	2	14	4	20	99									
12月	16	76	58	76.3%	108	1.9						4	12	2	18	2	20	6	28	3	16	8	27	2	30	3	35	108									
1月	18	87	64	73.6%	102	1.6						1	16	1	18	5	31	6	42	2	21	9	32	1	8	1	10	102									
2月	8	38	21	55.3%	30	1.4						0	3	1	4	0	5	2	7	0	7	4	11	0	5	3	8	30									
合計	142	645	475	73.6%	886	1.9			0	0	0	0	12	128	26	166	39	182	56	277	27	226	72	325	9	89	20	118	886								

2014年度は、1コマ目、2コマ目は実施しない。ただし、4月のみ2コマ目を3回実施しているため、昼休みに含める。

A)活動可能コマ数は、ソフトの登録(サブを含む)がしてあり、サポート活動が予定されているコマ数とする。

5月は1週23コマ×2週+18コマ=64コマ 6月は23コマ×4+5コマ=97コマ 7月は23コマ×3+32コマ=101コマ

10月は1週23コマ×2週+38コマ=84コマ ※10月初めはソフト変更があったため、10月7日スタートとする。

11月は1週23コマ×2週+38コマ=84コマ 12月は1週24コマ×3週+4コマ=76コマ

1月は1週24コマ×3週+15コマ=87コマ 2月は1週24コマ×1週+14コマ=38コマ(2月12日までとする)

2015年度

月	年間集計												1					2					3					4					5				
	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)	8:30-10:00			10:15-11:45			11:45-12:45			12:45-14:15			14:30-16:00			16:15-17:15			月合計												
							教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者	教職員	学生	学外者													
4月	21	60	32	53.3%	106	3.3						3	32	3	38	3	37	7	47	2	16	3	21	0	0	0	0	106									
5月	18	66	51	77.3%	107	2.1						1	18	4	23	5	31	7	43	3	23	3	29	1	10	1	12	107									
6月	22	88	70	79.5%	135	1.9						2	37	5	44	5	33	6	44	1	24	3	28	1	15	3	19	135									
7月	22	84	59	70.2%	109	1.8						0	23	4	27	8	27	10	45	2	15	8	25	1	8	3	12	109									
8月	3	12	4	33.3%	12	3.0						0	3	0	3	2	5	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	12									
10月	10	40	35	87.5%	64	1.8						2	12	3	17	0	5	3	8	3	13	5	21	2	11	5	18	64									
11月	19	76	60	78.9%	61	1.0						2	20	0	22	2	10	5	17	1	12	3	16	2	4	0	6	61									
12月	18	72	55	76.4%	36	0.7						0	8	0	8	0	6	2	8	2	6	6	14	1	4	1	6	36									
1月	19	76	63	82.9%	46	0.7						0	14	0	14	1	10	2	13	1	9	3	13	0	5	1	6	46									
2月	9	36	19	52.8%	8	0.4						0	0	1	1	0	4	1	5	0	1	0	1	0	1	0	1	8									
合計	161	610	448	73.4%	684	1.5			0	0	0	0	10	167	20	197	26	168	45	239	15	119	34	168	8	58	14	80	684								

2015年度は、1コマ目、2コマ目は実施しない。

A)活動可能コマ数は、ソフトの登録(サブを含む)がしてあり、サポート活動が予定されているコマ数とする。

4月は1週12コマ×5週=60コマ 5月は1週20コマ×3+6コマ=66コマ 6月は1週20コマ×4+8コマ=88コマ 7月は1週20コマ×4+4コマ=84コマ

8月は12コマ 10月は1週20コマ×2=40コマ 11月は1週20コマ×3+16コマ=76コマ 12月は1週20コマ×3+12コマ=72コマ 1月は1週20コマ×3+16コマ

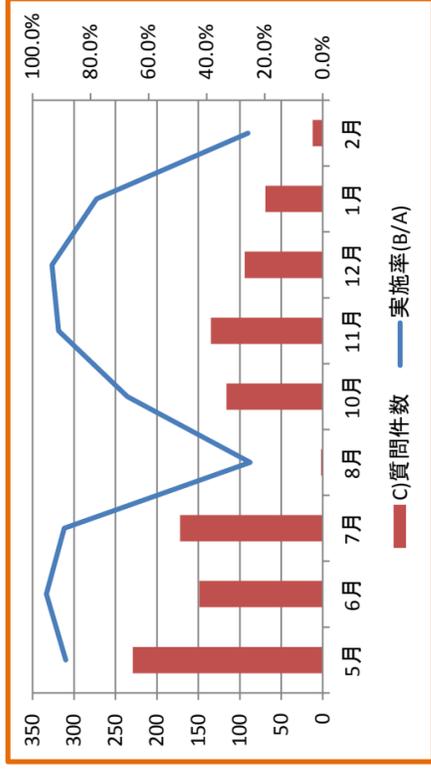
※5月8日まで研修期間ソフト

※2015年度は二人体制は廃止。2014年度は実施回数および時間にサブカウンター分も加算していた。

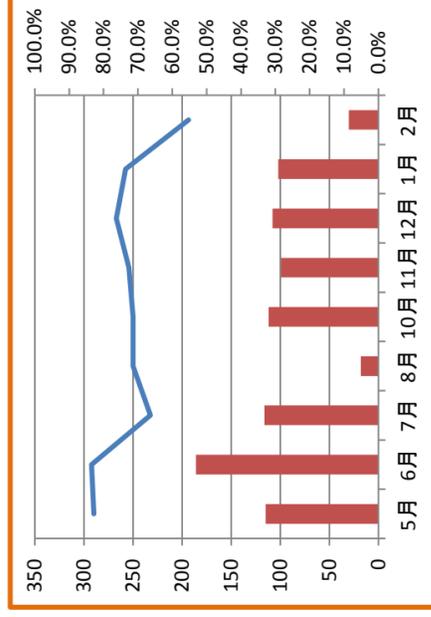
※8月は3~5日のみ、10月は19日からサポート活動開始。2月は10日現在までの数値。

図書館利用サポート統計(3年間の比較)

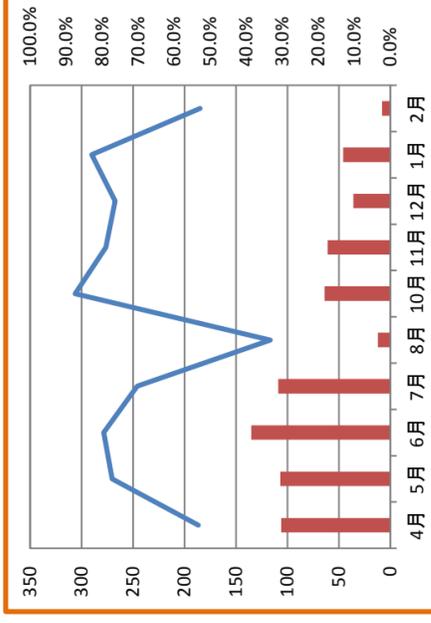
2013年度



2014年度



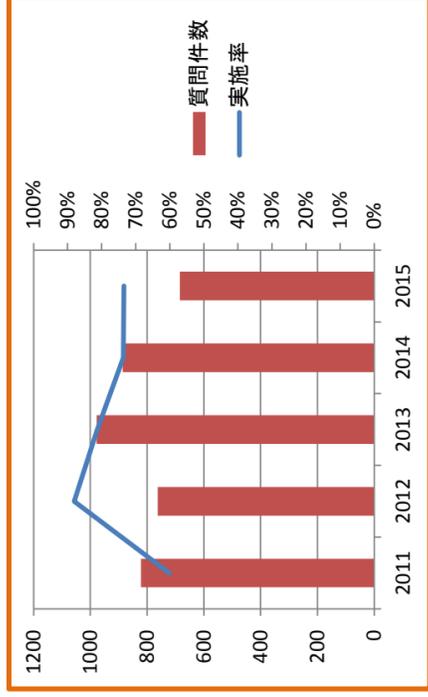
2015年度



*1月は13日現在までの数値

図書館利用サポート利用統計(5年間の推移)

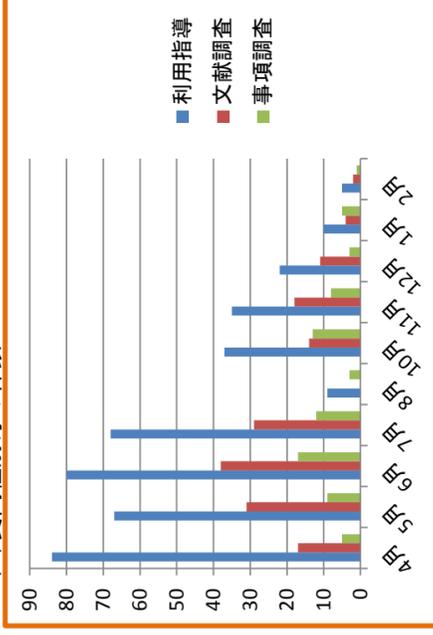
2011~2015の推移



*2011 通年実施
*2012 前期のみ実施

2015年度 質問種別／利用対象者別の件数

(1) 質問種別毎の件数



* 利用指導

図書館の各種利用方法等の指導

(例) ・書庫の利用の仕方は？

・自動貸出装置の使い方が分からない

文献の所蔵・所在等についての調査

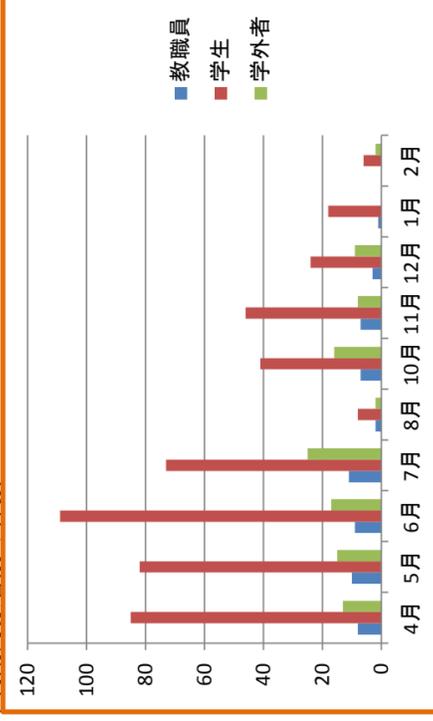
(例) ・この図書は図書館にありますか

・OOについての文献(図書・論文)を探している

事実や事柄についての調査

(例) ・OOについて知りたい

(2) 利用対象者別の件数



* 工学分野の図書はどこにあるか？

・OPAC、データベースの検索の仕方が分からない

・OOという論文を探している

自主企画活動報告

イベントチーム



概要

企画目的

日本人学生との交流を通して外国人留学生たちの日本語能力の向上を目指す。

活動日時

初回(11/11)は14:30-15:30

水曜4コマに留学生向けの授業があると判明

→毎週水曜日11:15-12:15に変更

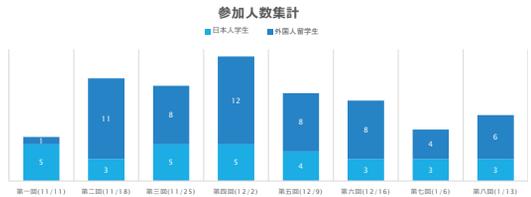
※1/16は11:05-12:05(ラーニングカフェとかぶるため)

場所

ラーニングcommons(1F)



参加人数



参加者からの感想 (※翻訳)

- ・日本語を上達させて日本の文化や歴史を知ることができた。
- ・討論の時間を設けるべき
- ・時間を増やしてほしい(週二回・週末)
- ・ドラマやアニメなどをテーマにしてみても?
- ・次週のテーマを先に決めてFacebookで報告するべき
- ・ほんとに良いプログラムになった。

まとめ

良かった点

留学生たちとの交流を図れるいい機会となった。
回を重ねることで固定の参加者がついた。

悪かった点

日本人学生の少なさ→宣伝不足
小グループが作られ孤立する人も・・・

ラーコモカフェ

企画担当：伊藤（I）

企画概要：

ラーニングcommonsにゲスト（教授、学外者、学生 etc）をお呼びして、ゲストのお話、質疑応答などを通じ、学生との交流を図る企画

また、そういった場を学生向けに提供することを目的としている

第1回 学長と語ろう！

時間：1月13日（水）12：05～12：35

場所：1F ラーニングcommons

対象：学生

参加人数：30人弱（学生、留学生、学外者）

当日の様子



まとめ

- ・学長との交流
- ・質疑応答の時間
- ・今後

自主企画活動報告

広報チーム

最終ミーティング
広報チーム

LiMe

企画目的

- 来館者に以下のことを伝えるため
 - 図書館の企画の紹介、報告
 - 図書館の利用方法
 - 図書を紹介
- 図書館をより活用してもらうため



活動内容

- No. 70 (7月号)
- No. 71 (8月号)
- No. 72 (11月号)
- No. 73 (12月号)
- No. 74 (1月号)
- No. 75 (2,3月合併号)
- No. 76 (4月号)
- オープンキャンパス特別号



作成中

改善点

- ホウレンソウ
 - スムーズに話し合いが進むための連絡の徹底
- レイアウト担当の引き継ぎ
- レイアウトの技術
 - 図、イラスト、写真の使用



感想

- 他のチームとの協力
 - 記事の依頼
- 新しい記事のアイデア
 - 実行、継続ならず



来年度は...

自主企画活動報告

展示・グッズチーム

館内装飾

七夕・ハロウィン

目的

季節感あふれるかわいい飾り付けをすることで、誰もが気軽に足を運びやすい図書館を目指す。

七夕



出入口
織姫の彦星の画像を印刷して、折り紙を切って作った星と一緒に張り付けました。

吹き抜けの下
籠を立てて、利用者の方に短冊を書いてもらいました。

出入口横のガラス
折り紙を切って作った星で、天の川を作りました。

吹き抜け
折り紙で輪飾りを作りました。



ハロウィン

ハロウィンな雰囲気画像を印刷して、色々ところに貼りました。



出入口

カウンター・事務室の窓



反省

- ・利用者の方の反応は良かった。
 - …季節を感じる、楽しい
- ・七夕の装飾が片付けまでちゃんとできなかった。
 - ハロウィンの装飾では改善できた。
- ・だいたい計画通りに進めることができた。
 - …必要物品、装飾位置、装飾期間(開始日と終了日)

館内装飾 冬

目的

- ・季節感あふれるかわいい飾りつけをすることで、誰でも気軽に足を運びやすい図書館を目指す。
- ・リクエストツリーを作りリクエストの本を募る。
- ・今回は冬をテーマにし長期間の展示ができる装飾を作る。

内容

美術部×図書館

- ・一階の窓飾り
- ・美術部の方にデザイン～描くまでを行ってもらった。
- ・展示期間:12月上旬～2/12

カウンター・一階吹き抜け装飾

- ・冬をテーマにした装飾をおこなった。
- ・展示期間:12月上旬～2/12

リクエストツリー

- ・クリスマスツリーにリクエストの本を書いたものを付けてもらい本を募集する
- ・展示期間:12月上旬～冬休み前

美術部×図書館

- ・一階の窓飾り
- ・美術部の方にデザイン～描くまでを行ってもらった。
- ・展示期間:12月上旬～2/12



カウンター・一階吹き抜け装飾

- ・冬をテーマにした装飾をおこなった。
- ・展示期間:12月上旬～2/12



リクエストツリー

- ・クリスマスツリーにリクエストの本を書いたものを付けてもらい本を募集する
- ・展示期間:12月上旬～冬休み前



改善点・良かった点

リクエストツリーの応募数が伸びなかった。
 →匿名でないことにハードルを感じた人がいた。
 →募集期間が短かった。
 →ニーズを明らかにすることも必要だった。
 コンシェルジュの応募も少なかったためやっていること自体が知られていない可能性がある。

美術部とのコラボのように、学内団体との交流機会を得られたのは、大きな前進だった。これもうやむやにせず粘り強く活動した成果であると思う。

・クリスマスに限定せず冬の装飾としたことで、長期間の展示が可能になったのは良いアイデアだった。

・他のチームの方にも協力してもらい決めた日程通りにスムーズにできたのが良かった。

今後

・コンシェルジュだけでなく他の団体とも交流をもてるような、展示の企画ができればいいと思う。
 →学内でデザイン案を募集する書きたい人を募集する。

・今回初めての試みもいくつかあり、改善点も多く出たので来年にいかしたい。

市立図書館団体貸し出し

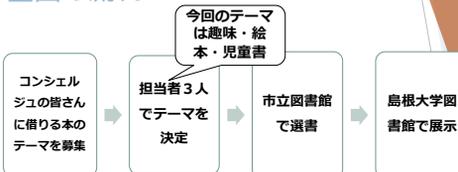
企画概要

・松江市立図書館の蔵書を借り受け、島根大学図書館の利用者に提供する。コンシエルジュと職員が協働して行うが、借りる圖書のテーマの設定、選書作業、展示・片付けはコンシエルジュを中心に行う。

・貸出期間：2ヶ月 ※ただし、貸出中の図書につき予約が入った場合は、1か月で返却
 ・貸出冊数：1回あたり約100冊

担当者：福島・上野・立花

企画の流れ



企画の様子

市立図書館で選書

島根大学で展示



改善点・良かった点

- ・大まかなテーマを決めたり、あらかじめ借りたい本を調べることで効率よく選書できた。
- ・展示場所が一階の見やすいところだったので良かったと思う。
- ・一人、一冊一押しの本を考えておくと広報がしやすい。
- ・市立図書館の書庫が入りにくいので二手に分かれて少人数で選書したほうが良かった。

感想

・島根大学では読めない本を読む機会を作ることができて、本を読むきっかけになったと思う。

・多くの人が市立図書館に行くことがなかなか無いと思うので、この企画で市立図書館のことを知ってもらい、島根大学の図書館の利用者が増えればいいなと思った。

・企画の進め方はまだ改善するところがあるが、ある程度はスムーズに進めることができて良かった。

今後

・今回は選書を行ったのが、企画担当者3人とコンシェルジュ人だったので、もっと色々な人が参加できるような日程を今後組めたら良い。

・今後はまずコンシェルジュ内で企画の体制をしっかり作り、アンケートなどでテーマ募集を行い、選書など図書館コンシェルジュだけでなく学生も参加できるような体制を作れたらいいと思う。

オープンキャンパス企画

《学生の自主的活動プロジェクト》

大学間図書館交流会

大学図書館学生協働交流シンポジウム

オープンキャンパス報告

福島悠太

目的

- 図書館と学生と地域の人との交流を図る。
- 図書館の構造や仕組みを知ってもらう。

内容

- 館内に設置してある問題を解き館内をめぐる。



ご静聴ありがとうございました。

大学間図書館交流会報告

福島 悠太

概要

- 日程: 11月23日(月)祝日
- 時間: 10:00~17:00
- 場所: 島根大学付属図書館、曾田文庫、松江市立図書館、島根県立短期大学部図書館
- 対象: 島根大学図書館コンシェルジュ、島根県立短期大学部図書委員、図書館に興味のある学生

目的

- 大学間の交流から新たな企画の足がかりにする。
- 地域の活動を知り自大学の活動につなげる。

活動報告(10:10~10:30)

- 島根大学と島根県立短期大学部の活動を紹介。



ワークショップ(10:45~11:45)

- 現在行っている活動からこれから出来る活動を見つけるワークショップを行った。



島根大学附属図書館(13:00~13:30)

- 図書館ツアー形式で見学



曾田文庫(14:00～15:00)

・私設図書館である曾田文庫の見学、宍道先生のお話し



松江市立図書館(15:15～16:00)

・図書館概要や普段は見学できない閉架書庫や、移動図書館を見学



島根県立短期大学部図書館(16:20～16:40)

・島根県立短期大学部図書館の見学



考察

想定していたよりも人数は少なかったが、その分しっかり交流を行いました。また各図書館のお話を聞くことで、今後自分たちがどんな活動を行うことができるのかを考えるきっかけを作れたと思います。

ご清聴ありがとうございました。

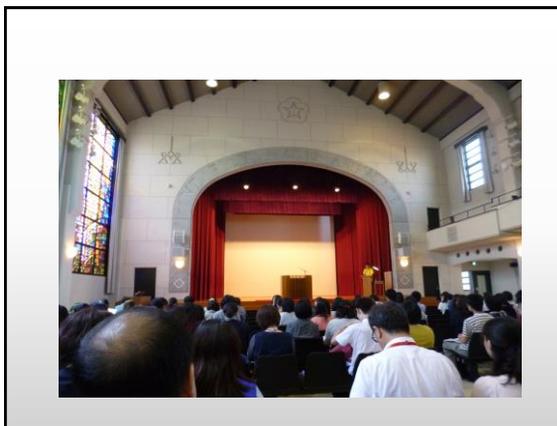


学生共同交流シンポジウム詳細

- 日時:平成27年9月8日~9日
- 会場:梅光学院大学キャンパス
下関生涯学習プラザ
- 参加人数:約200人
- 参加校:約30校

目次

1. 講演「共読」&ワークショップ
2. ポスターセッション
3. 交流会
4. ワールドカフェ
5. まとめ



講演「共読」

「共読」とは・・・「読み合い、薦め合い、評し合う」



講演の様子



ワークショップ

本のバトンをつなげ！！
「共読ワークショップ」これであなかもブックアスリート

目次読書法の実践

1. 本を選ぶ
2. 目次を読む(3分間)
3. 本のキーワードを見つけ出す(3分間)
4. 本の帯作成(キャッチコピーを考える、5分間)
5. 発表(各班で発表、1分間)



ワークショップの感想

- 目次から本を読むという新しい方法を得ることができた
- 新書を使い、情報を**要約・連想・発想・伝達**するスキルが身につき、今後に役立てたいと思った

ハンドベル部演奏



ポスターセッション会場



ポスターセッション



他大学の活動紹介 (ポスターセッションから)

- 古本市 (愛媛大学)**
 学生や教員から読まなくなった本を募り、学祭で無料配布。
- スタンプラリー (山口大学)**
 「働く」について考えてもらうための企画。就活コーナーの本を一冊借りるごとにスタンプを一つ押し、6つ集まったらトートバッグをプレゼント。
- 先生のコバナシ (徳島大学)**
 教員の方に、自らの研究活動について語ってもらう。学生に対して、大学における学習や研究への動機づけに役立ててもらおう。

当日発表ポスター



交流会



宿泊

「遊福旅館」



部屋



ワールドカフェ

「繋がりを生み出す図書館となるために、あなたは何をしますか？」

概要

1ラウンド テーマについて探求する

(20分間のグループワーク)

2ラウンド アイディアを膨らませる

(班を変えて前の班の内容から20分間のグループワーク)

3ラウンド 気づきや発見を統合する

(最初の班で再度20分間のグループワーク)

発表と総括

(3、4グループが発表)



まとめ

- 他大学の活動を知る機会となった
- 他大学の学生との交流を通じて、人と人が繋がる図書館づくりを発展させることが重要だと感じた
- 今後のコンシェルジュの活動に生かせる話を多く聴けた

